

一般会計
 歳出

一般会計の歳出について、性質別および目的別のグラフを下記に示しました。それぞれ昨年との比較や本年度の傾向を見ていきます。

性質別みる歳出

人件費

人件費は、前年比2002万円の増額となりました。特別職を含む職員給与、議員報酬等の増額、統計調査員等報酬の増額（1301万円増）等によるものです。

物件費

消耗品や業務委託、臨時職員の賃金などを盛り込む物件費は、前年比3億3315万円増額となりました。本庁舎建設に伴う備品購入、電算システムの本庁舎移転対応等は事業終了により減額となりましたが、新本庁舎管理費（2億1469万円）、証明書コンビニ交付システム構築委託（3622万円）、公立保育園臨時職員賃金（6318万円）、除雪業務委託（8053万円）などが増額となりました。

扶助費

住民福祉を支えるための経費である扶助費は、前年比3億1050万円減額となりました。主な減額の理由は、臨時福祉給付金給付事業（1億5400万円）、子育て世帯臨時特例給付金給付事業（9446万円）等の減額です。

補助費等

各種団体への補助金や負担金等の経費である補助費等は、前年比6億9447万円増額となりました。

認定子ども園整備事業補助金（9360万円）、安曇総合病院建設費助成（2800万円）、農村漁村活性化プロジェクト交付金事業（あづみ農協が行う農産物直売施設整備への補助）（2億円）、国営中信平第2期事業（2億5500万円）等の増額によるものです。

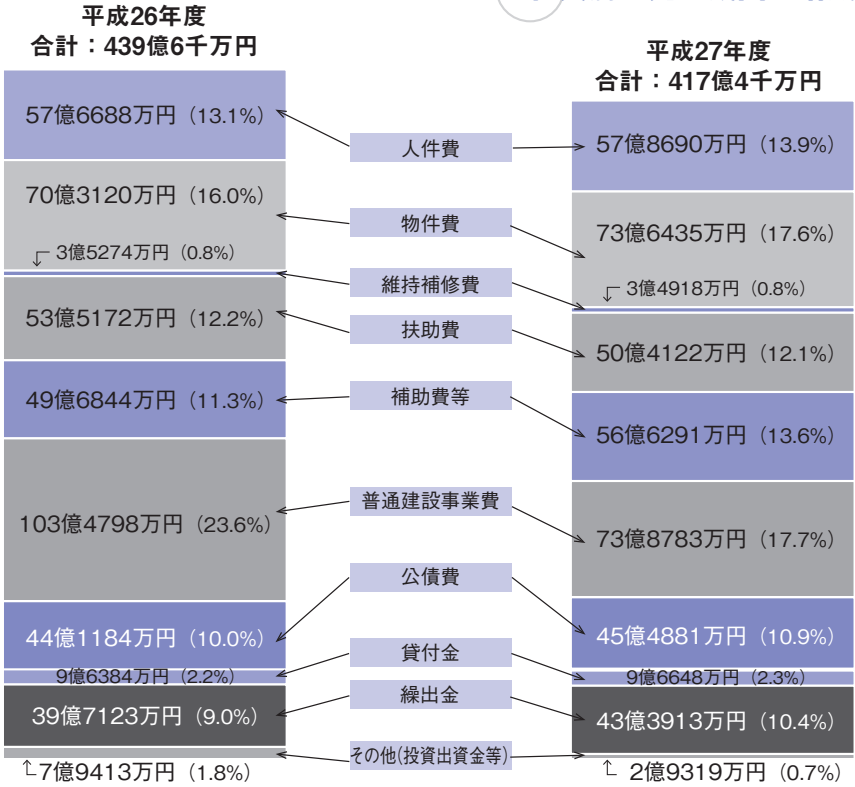
普通建設事業費

本庁舎建設事業の終了で、前年比29億6015万円減額となりました。平成27年度は穂高支所整備（2億6249万円）、三郷支所整備事業（5億6118万円）、

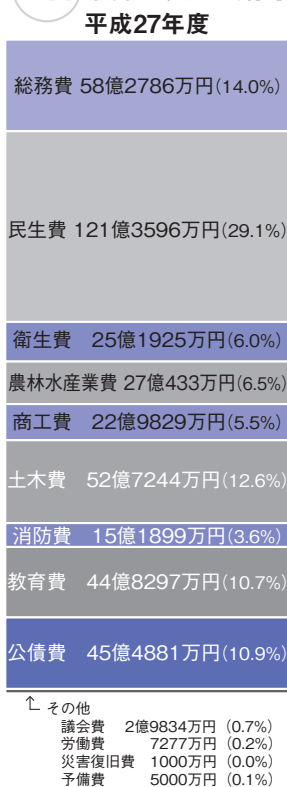
歳出予算

※端数処理のため内訳の計と合計が一致しない場合があります。

性質別見る歳出の増減



目的別見る歳出



掘金支所整備事業（5億2867万円）、豊科公民館耐震工事（3億1947万円）の事業が予定されています。

公債費

既発債分は減額となりましたが、大きく借入を行った平成26年度事業分の償還が始まることから前年比1億3697万円増となりました。

繰出金

繰出金については、国民健康保険特別会計繰出金（1億1252万円増）、下水道事業特別会計繰出金（2億6081万円増）など、全体としては3億6790万円増となりました。

目的別みる歳出

総務費

58億2786万円を計上しました。前年比14億6666万円の減額です。減額となった理由は本庁舎建設事業の完了によります。実施する主な事業は、新本庁舎管理、穂高支所等整備事業、三郷支所等整備事業、掘金支所等整備事業、

市制施行10周年記念事業、証明書コンビニ交付システム構築となっています。

民生費

一般会計歳出のうち最も多い割合を占める民生費は、121億3596万円を計上しました。前年比3億397万円の減額です。減額となった理由は臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金の事業規模縮小等です。国保会計繰出金、公立保育園総務費の臨時職員賃金等は増額となりました。

衛生費

25億1925万円を計上しました。前年比4億1015万円の減額です。減額の理由は下水道事業第1次拡張事業（三郷地域水源転換事業）等に伴う水道事業会計への繰出金が4億8320万円減額となったためです。安曇総合病院建設費助成（2800万円増）は増額です。

農林水産業費

27億433万円を計上しました。前年比5億8960万円の増額です。農村漁村活性化プロジェクト

商工費

交付金事業（あづみ農協が行う農産物直売施設整備への補助）、国営中信平第2期事業、松くい虫被害対策事業（7145万円増）等が増額となっています。

教育費

44億8297万円を計上しました。前年比4億8673万円の減額です。減額の理由は穂高会館耐震補強工事の完了によります。豊科公民館耐震補強工事や小中学校非構造物耐震化工事は引き続き実施し、三郷交流学習センター整備に着手していきます。

土木費

52億7244万円を計上しました。前年比7億1164万円の増額です。下水道会計繰出金、除雪対策費、社会資本整備総合交付金事業（1億9300万円）、街路整備事業の穂高駅前等整備（2億4245万円）が増額になりました。

消費費

15億1899万円を計上しました。前年比6億1342万円の減額です。減額の理由は防災広場整

予算のより詳しい資料は、市ホームページにも掲載しています。

岡県安曇野庁舎内 財政課
TEL 71・2000(代) FAX 71・5000

※予算の比較については、平成26年度・27年度ともに当初予算を基にしています。